

海老名市市制施行 50周年に寄せて

ことし11月1日に海老名市は市制施行50周年を迎えます。海老名の「元氣」を支える数多くの団体の中から、15団体の方に今後の活動の意気込みや、海老名への思いなどのコメントをいただきました。(順不同)



※写真は令和元年以前のもを含みます。



海老名市
交通指導員協議会
会長 佐久間幸志



市民を交通事故から守ることを誓う
[指導始め式]

市制施行前の昭和45年、10人の「海老名町交通指導員」でスタートしました。現在は20支部の83人となり活動が広がっています。年4回の交通安全運動をはじめ、市内小学生を対象にした自転車乗りの教室などの交通安全教室のほか、えびな市民まつりや駅伝、マラソン大会など市のさまざまな事業の交通整理にも従事しています。これからも、「市内から交通事故を無くす」「事故で不幸な人を出さない」の熱い思いで活動してまいります。



海老名市
自治会連絡協議会
会長 柳下泰介

新型コロナウイルスは、県外への移動制限、学校の休校など、日々の生活様式に多大な影響を与えました。自治会のさまざまな行事も中止となりましたが、感染防止策を図りながら、安全・安心・住み良いまちづくりのため活動してまいります。地域のお困りごとなど何でもご相談ください。市制施行50周年記念のことし、年末までにはマスクを外して笑顔で会話ができることを心より祈ります。



市や施設管理者と連携して避難所運営訓練を実施



海老名市地域婦人
団体連絡協議会
会長 紅野弘子

市地婦連は市制施行に伴い、昭和47年に高座郡の組織から独立し、来年50周年を迎えます。「親睦」「学習」「奉仕」を3本柱に、婦人の生活向上に関する方策の調査研究や研修会などを行ってきました。また、市と連携した行事や自治会との協力、地元文化の継承などにも深く携わってきました。ことしも各女性団体や世代間の交流に力を注ぎながら、会の増強を進めていきたいと思えます。



新春はやし節
初めで大黒舞を披露

えびな健康マラソン大会などの運営をサポート



海老名市
スポーツ協会
会長 倉橋正美

市と共に歩み続けて49年、現在スポーツ協会は22種目団体とえびな少年少女スポーツクラブ12種目団体で組織しています。市主催のスポーツ事業への協力や、大会への選手派遣、講演・研修会の開催など、さまざまなスポーツ振興活動を行っています。これからも、子どもから高齢者まで多くの市民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、市を盛り上げてまいります。



口腔がん検診に従事したスタッフ



海老名市
歯科医師会
会長 石渡靖夫

発足30年を迎えた当歯科医師会は、各種検診(健診)や休日歯科診療などを通じて市民の歯や口の健康づくりのお手伝いをしています。令和元年よりオーラルフレイル(お口の機能の虚弱)健診を全国に先駆けて開始しました。今後もオーラルフレイルの早期発見と、トレーニングによる咀嚼・嚥下・発音などの口腔機能の正常化を図ることで、市民の健康寿命延伸に貢献できたいと思っております。



海老名市医師会
会長 高橋裕一郎

当医師会は発足33年となり、市の発展と共に歩んでまいりました。市から委託される地域医療事業に協力し、市民の健康維持に努めています。また、新型コロナウイルスの流行により、昨年5月からは市と協力しPCR検査を実施するなど、全力で新型コロナウイルス対策を行っています。今後100周年に向けて、市と共に市民の健康増進に協力していく所存です。

PCR集合検査場は
昨年10月から2
ピット検査体制に



海老名市薬剤師会
会長 青木茂昌

当薬剤師会は北相薬剤師会から独立して30年を迎えました。お薬の相談、急患診療所内での調剤、災害時緊急薬品の備蓄のほか、市内小・中・高校の学校環境衛生検査やお薬に関する講演会も行っています。今後も、医師会・歯科医師会の先生方と連携し、市の協力を得ながら、市の計画のローガンでもある「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」を目標に活動していきたいと思えます。



「薬と健康の週間」
ではお薬相談や健康測定を実施